

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成25年 3月19日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.		不適合件名	グレード	備考
1	3号機	原子炉系原子炉給水ライン手動弁Aの開・閉操作において、弁ハンドルノブが破損する事象が認められたため、当該弁のハンドルノブを修理。	G III	
2	3号機	高圧炉心スプレイ系高圧炉心スプレイポンプの試運転において、ポンプ吐出流量指示が通常値より低い事象が認められたため、吐出流量計の水張り、空気抜きを実施後、ポンプを再起動したところ、安全処置の復旧忘れによる一時的なポンプ締切り運転となったため、速やかにポンプを停止するとともに対応策検討。	G II	
3	4号機	換気空調補機冷却系主冷凍機C起動時において、「圧縮機過負荷トリップ」警報の発生とともに、当該冷凍機が自動停止する事象が認められたため、対応検討。	G III	
4	その他	溶接事業者検査組織の更新審査準備において、平成21年度に実施した3号機局部出力領域モニタードライチューブ溶接事業者検査記録に記載誤りが認められたため、対応検討。	G II	